

【事業実績】

1. 収蔵資料のデジタルアーカイブと一元管理

①収蔵品のデジタル撮影（約 500 点）

・世界の玩具・日本の郷土玩具（凧・だるま・こま）雛飾りなど地域別に撮影

②データベース導入準備（レコード整形、資料情報登録、DB 登録画像準備）

・約 8350 点のレコードの整形とレコードと画像のマッピング作業を実施

③デジタル資料の一般公開に向けて公式サイトリニューアル

・公式 Youtube チャンネルを設立と HP 相互リンク (<https://www.youtube.com/@JapanToyMuseumChannel>)

・過去の企画特別展の年代別アーカイブ (<https://japan-toy-museum.org/archives/exhibition/special>)

・デジタルコレクション公開に向けて、コレクションページの拡充と DB との連携準備

（2024 年 3 月以降順次公開予定）



2. 学校や地域活動団体における博物館の活用

①地域活動団体との連携：博物館開放・親子手作り玩具伝承

・中仁野自治会や中仁野弥栄会、老人クラブ連合会主催の地域イベントに参画。
博物館の無料公開と江戸時代からの伝承玩具であるブンブンごまのワークショップを開催



親子ワークショップ

日程：2023 年 10 月 28 日（土）

来館者：地域住民 131 名（大人 85 名 子供 48 名）

②小学校との連携：出前授業による郷土凧の解説と凧作り・凧名人による凧あげ実演・デジタル資料の活用

・校外学習で地元小学校からの来館は既にあったが、本年度は新しい試みとして、小学校学習指導要領に沿った博物館活用のための提案一覧を作成し、先生方から意見を伺いながら地域の博物館として学校教育との連携を図った。



凧に親しむ@香呂小学校

・学習のめあて：低学年向けに各地域に伝わる凧の魅力をデジタル画像や実物を用いて伝え、クイズに答え、友達の感想を聞くことで凧に親しむ。凧揚げをしたことのない子どももいるため、簡単な凧を制作し凧あげを体験する。また、地元の凧名人制作の大凧が空にあがる姿を見学する。

香呂小学校	1 月 16 日（火）	1 年生 66 名	2 時限目 (45 分)	-学芸員による「ふるさとに伝わる凧」のお話 -沢山の凧の収蔵品をデジタル画像で鑑賞 -地元の凧名人の作った大凧の紹介
		2 年生 68 名	3 時限目 (45 分)	
中寺小学校	1 月 18 日（木）	1 年 1 組 26 名	1 時限目 (45 分)	-凧のお話し 30 分 -簡単折り紙凧作り 15 分 ※雨天のため凧揚げは 23 日に変更
		1 年 2 組 26 名	2 時限目 (45 分)	
	1 月 23 日（火）	1 年 52 名	午後	凧揚げ・大凧あげ見学



児童の声：◆たこづくりのしかった。また、つくりたい。◆たこ・いか・ようずっていういいかたがあるなんてしりませんでした。◆私が一番好きな凧は、むかで凧です。いっぱい足があつて、おもしろかったです。また、玩具博物館に行くのが楽しみです。◆びっくりしたことは、昔は、和紙がなかったから、葉っぱで作っていたことです。◆そで凧が好きです。◆ふく凧を作ってみたいです。◆とんび凧が好きです。◆江戸時代から凧があったんだなと思いました。◆気になったのは「うなり」で、ブブワと言って、おもしろかった。◆竹があんなに曲がるなんて、びっくりしました。

中寺小 先生の声：日本各地の凧の紹介や凧についてのお話しがとても興味深く、子どもたちも楽しみながら聞くことができていたと思います。凧作りは1年生の活動としては、少し時間が足りなかったように感じましたが、簡単に可愛い凧ができて、とても喜んでいました。後日、運動場で凧あげをしました。よく飛んでいました。子どもたちは、嬉しそうに手作りの凧を持ち帰りました。今回は楽しい体験をさせていただいて、ありがとうございました。

詳細は公式 HP にて：<https://japan-toy-museum.org/archives/28834> Instagram：<https://www.instagram.com/p/C2rXPVMvhrI/>

③ボランティア活動準備検討

・ボランティアの方々自身の喜びとなる活動を検討。施設の保全に携わるボランティアとして全館 LED 照明への変更事業に合わせて資料の出し入れと展示ケース掃除に参加いただいた。



3. 文化観光施設として地域活性化に寄与

①市内観光案内所でのデジタル資料を活用したミニ展示 ②市主催イベントでの展示

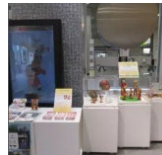
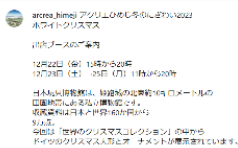
・姫路市観光課や姫路観光コンベンションビューローと連携し、当館が位置する姫路市郊外の香寺町方面にも、国内外から多くの方々にお越しいただくことで地域活性化に貢献する活動。

姫路市観光案内所 NAVI PORT	ミニ企画展示 (デジタル画像・動画を活用したサイネージ)	1回目：9月9日～10月22日	メキシコの民芸玩具
		2回目：10月25日～11月19日	祭礼の玩具
		3回目：11月22日～12月25日	世界のクリスマス
アクリエひめじ	“ホワイトクリスマス”	12月22日～25日	ドイツ伝統のクリスマス飾り

詳細は公式 HP にて：<https://japan-toy-museum.org/archives/28628>

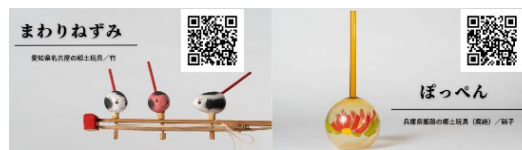
③SNS を活用した情報発信

・YouTube/Instagram/X/Facebook から相互リンクによる情報発信



④デジタル資料を活用した館内における展示解説

・展示品のなかでユニークな動きをご覧いただくため、動画読み取りのための QR コードを新たに設置した。



4. 持続可能な経営・管理運営について法人化の検討

①博物館を未来につなぐための会議

・前年度から一般財団法人として立て直すための方策を練っていたが、体制構築や組織の実行力についての課題があり、オンライン会議による有識者からの助言をうけ、県教育委員会・弁護士・公認会計士にも相談し、課題解決に向けて精力的に取り組んでいる。事業承継の問題もあり、どのような法人になるのか再検討する事になった。運営組織の解散や倒産により、文化財となりうる資料が散逸しないよう、地方自治体にも支援を仰ぎ、博物館を次に繋ぐための活動を始めている。

2024年11月に日本玩具博物館は50周年を迎える。未来へつなぐための次のステップへ踏み出したい。